



令和5年10月24日

担当課	文化振興課(博物館)
担当者	小橋
電話	073-423-0003

和歌山市立博物館特別展「葛城修験の世界」を開催します！

令和2年に日本遺産に認定された葛城修験について、その歴史や内容の実態を伝えます。奈良大学の協力のもと加太・常行寺や西庄・西念寺など、和歌山市内の葛城修験に関係する仏像・神像を納める寺院の調査を行っており、それらの成果を公表するとともに、葛城修験の重要地点の加太・迎之坊（和歌山市）・中津川行者堂（紀の川市）などが所蔵する資料を出陳し、葛城修験の豊かな歴史を紹介します。

- 会 期 令和5年10月28日（土）～12月10日（日）
休館日：月曜日、11月24日（金）
- 会 場 和歌山市立博物館 2階特別展示室
〒640-8222 和歌山市湊本町3-2 TEL：073-423-0003
- 開館時間 9時～17時（ただし入館は16時30分まで）
- 入館料 一般：500円 高校生以下：無料
※障害者手帳、和歌山市発行の老人優待利用券をお持ちの方は無料
※関西文化の日にちなみ、11月18日（土）・19（日）は無料開館
※ふるさと誕生日にちなみ、11月22日（水）は無料開館
※団体（20人以上）は2割引
- 講演会 各回とも14時～15時 定員80名（予約不要・当日先着順）
 - ・11月11日（土）こばしゆうすけ小橋勇介（当館学芸員）「古文書からみた葛城修験の歴史」
 - ・11月18日（土）おおこうちともゆき大河内智之氏（奈良大学准教授）
「仏像から見る葛城修験—近年の調査成果から—」
 - ・11月26日（日）みやぎたいねん宮城泰年氏 しょうごいんもんげきもんしゅ（聖護院門跡門主）「加太・中津川周辺の経塚と周辺遺跡」
- 展示解説 各回とも14時から1時間程度 定員30名程度（当日先着順）
11月4日（土） 12月2日（土）
- 主 催 和歌山市
- 共 催 葛城修験日本遺産活用推進協議会

主な展示資料

くまのさんざんけんぎょうしょうごいんかくじよほっしんのうりょうじ ○熊野三山 検校 聖護院 覚助法親王 令旨

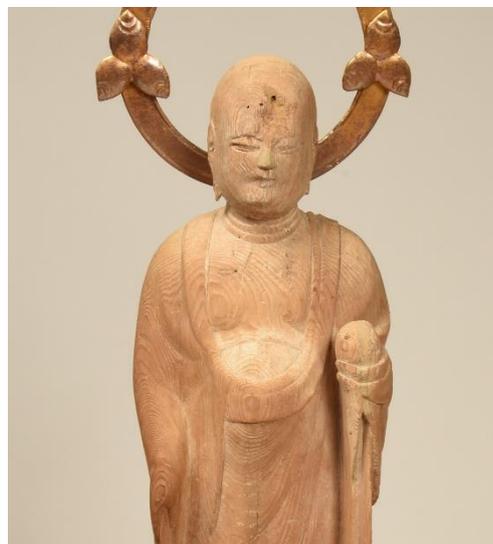
(個人蔵・和歌山県指定文化財)

文永7年(1270)に熊野三山^{けんぎょう} 検校^{けんぎょう}であった
聖護院^{しょうごいんもんぜき}門跡^{もんせき}が、全国^{やまぶし}の山伏^{やまぶし}に対して宛^{あて}て出した
書状^{しよじょう}。かつて和歌山市^{かたじ}加太^{かたじ}には、修験^{しゆげん}寺院^{いん}である
伽陀寺^{かたじ}が存在^{しゆんざい}していたが、それが焼失^{しやうしつ}したため、
再建^{さいけん}するために協力^{きやうりき}するように命令^{めいれい}しています。
加太^{かたじ}が古くから修験^{しゆげん}の聖地^{せいぢ}であったことを示^ししま
す。



じぞうぼさつりゆうぞう ○地蔵菩薩立像 (西念寺蔵)

和歌山市^{にしししょう} 西庄^{きのもと}・木ノ本^{きのもと}と大阪府^{たながわ} 岬町^{さか} 多奈川^{たながわ} 地区^{ちく}にはさま
れた府県境^{ふけんぎ}の山林^に一帯^{しゆく}はかつて葛城^{かつらぎ}二ノ宿^にと呼ば^よばれる修験^{しゆげん}
の聖地^{せいぢ}でした。西庄^{にしししょう}の山林^にかつて存在^{しんざん}した修験^{しゆげん}寺院^{いん}・神福寺^{しんぷくじ}
には修験道^{しゆげんぢやう}の祖^そ 役行者^{やくぎやう}が法華^{ほけきやう}経^{きやう}方便品^{ほうべんほん}第二^{だいに}を埋納^{まいなつ}したとさ
れる経塚^{きやうづか}があり、周辺^{しゆべん}の中心^{しんしん}となる寺院^{いん}でした。神福寺^{しんぷくじ}は廃
絶^{はいせつ}しましたが、仏像^{ぶつざう}などは西庄^{にしししょう}の西念寺^{さいねんじ} (西山^{さいざん}浄土宗^{じやうどしゆ}) の境内^{きん}
に観音堂^{くわんおんどう}ごと移^{うつ}されました。この仏像^{ぶつざう}は神福寺^{しんぷくじ}に納められて
いた仏像^{ぶつざう}のひとつで、平安時代^{へいあんじだい}に遡^{さか}る作品^{さくひん}です。



せんぼうが たけたにこうのず ○懺法ヶ嶽谷行之図 (本恵寺蔵)

和歌山市^{のうがわ} 直川^{ほんえいじ}の本恵寺^{ほんえいじ}は直川^{ちくがわ} 観音^{くわんおん}として知られる日蓮宗^{にぢんしゆ}寺院^{いん}です。
かつては千手寺^{せんじゆじ}と名乗^{なを}る修験^{しゆげん}寺院^{いん}で、寺^{てら}の後背^{ごうはい}に位置^ちする大福山^{だいふくざん}など
の山^{やま}は山伏^{やまぶし}が修行^{しゆぎやう}する行所^{ぎやうじよ}です。本資料^{ほんしりょう}は同寺^{どうてら}に残^{のこ}る資料^{しりょう}で、「谷行^{たにぎやう}」
は能^{のう}の曲名^{きやくな}。母親^{ぼふ}の病氣^{びやうき}平癒^{へいじゆ}を祈^{いの}るために松若^{まつわか}は師匠^{あじやう}の阿闍梨^{あせり}一行^{いっぎやう}
の峰入^{みねいり}修行^{しゆぎやう}に加^かわろが道中^{みちぢゆう}病^{びやう}に罹^かる。修験^{しゆげん}の習い^{しゆい}にしたが^{したが}い谷底^{たにぞこ}に捨^す
てられたが、阿闍梨^{あせり}が祈^{いの}ると役行者^{やくぎやう}があらわれ、鬼神^{くわんじん}に命^{めい}じて松若^{まつわか}を
蘇生^{そせい}させたという一曲^{いっきやく}で、本資料^{ほんしりょう}は松若^{まつわか}が蘇生^{そせい}する場面^{ばめん}を描^えいている。
江戸時代^{えどじだい}の紀伊国^{きいこく}の名所^な案内^{あん}本^{ほん}『紀伊国名所図会^{きいこくな}』では谷行^{たにぎやう}の舞台^{ぶたい}は
直川^{ちくがわ} 観音^{くわんおん}の奥^{おく}にある山^{やま}、懺法ヶ嶽^{せんぼうがたけ}としている。



えんのぎょうじゃ ぜん き ご きぞう
○役行者・前鬼・後鬼像（中津川行者堂蔵）

紀の川市中津川は葛城の中台（胎蔵界曼荼羅の中央の中台八葉院のこと）と称される葛城修験の中心となる重要地点です。現在も聖護院門跡の本山派の春の峰入りに際しては、護摩行が行われています。本資料は中津川地区の行者堂に納められていたもので、室町時代に遡ります。役行者が従者となる鬼を伴っています。

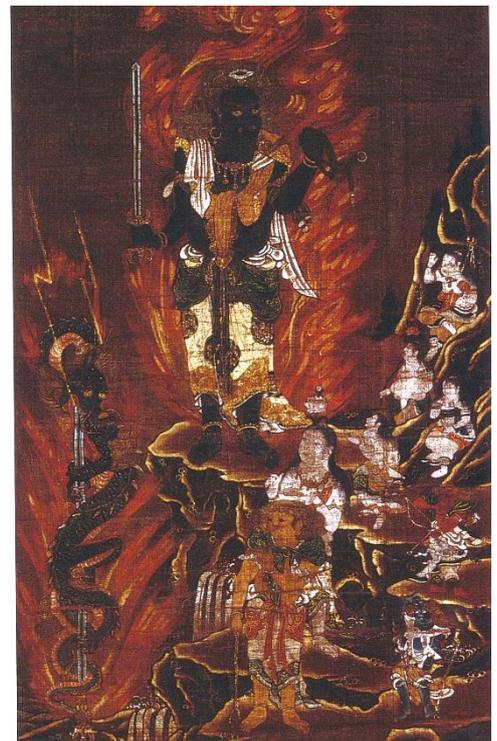


ふどうみょうおうにどうじしじゅうはちししやず
○不動明王二童子四十八使者図

（七宝瀧寺蔵・大阪府指定文化財）

泉佐野市の七宝瀧寺は役行者創建とされる修験寺院で、境内の滝では今も瀧行が行われています。

本資料は、両面中央に不動明王とその眷属の矜羯羅・勢多迦の二童子を配し、その左右に四十八使者を描く不動明王の絵画。四十八使者のそれぞれの形状、肉色、持ち物より各使者の尊名を明らかにすることができ、それを順序どおりに描く。この図の髪の毛筋、着衣の文様、装身具の金泥などの著色が丁寧であることや、筆遣いから南北朝中期に制作されたと考えられている。





神変大菩薩（役行者）像（個人蔵）

共催・葛城修験日本遺産活用推進協議会

葛城修験の世界



JAPAN HERITAGE
日本遺産

令和五年度和歌山市立博物館特別展・日本遺産認定記念展覧会



友ヶ島で修行する山伏

会期：令和5年10月28日（土）～12月10日（日）

開館時間：9：00～17：00（入館は16：30まで）

休館日：毎週月曜日、11月24日（金）

入館料：一般500円 高校生以下無料

20名以上の団体は2割引、

障害者手帳および和歌山市発行老人優待利用券をお持ちの方は無料

「関西文化の日」にちなみ11月18日（土）・19日（日）は無料

「ふるさと誕生日」にちなみ11月22日（水）は無料

展示解説：各回とも14：00 から1時間程度

11月4日（土）・12月2日（土）定員30名程度（先着順）

講座：各回とも14：00～15：00

定員80名（予約不要・当日先着順）

11月11日（土）小橋 勇介（当館学芸員）

「古文書からみた葛城修験の歴史」

11月18日（土）大河内 智之氏（奈良大学准教授）

「仏像から見る葛城修験 - 近年の調査成果から -」

11月26日（日）宮城 泰年氏（聖護院門跡門主）

「加太・中津川周辺の経塚と周辺遺跡」



南海・JR和歌山市駅から徒歩5分

和歌山市立博物館

〒640-8222 和歌山市湊本町3-2

TEL 073 (423) 0003

FAX 073 (432) 9040

URL: <http://www.wakayama-city-museum.jp/>

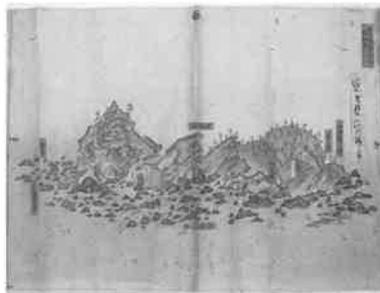


令和2年、和歌山・大阪・奈良の三府県にまたがる葛城修験は、日本遺産に認定されました。葛城の山中やふもとの里のなかで育まれた修験の文化・歴史が豊かなものであると、高く評価された結果と言えるでしょう。また、和歌山市では令和3年度より、市内の修験寺院の文化財調査も行っています。今回の展示では、それらの成果を公表するとともに、葛城修験の重要地点の加太・友ヶ島（和歌山市）や中津川・（紀の川市）などの資料を出陳し、葛城修験の豊かな歴史の一端を紹介します。

主な展示資料



熊野三山検校聖護院覚助法親王令旨 伽陀寺・友ヶ島行場絵図（部分）
（ともに個人蔵・和歌山県指定文化財）



深蛇龍王の爪
（個人蔵）



篠丸印文
（個人蔵）



地藏菩薩立像（部分）
（西念寺蔵）



懺法ヶ嶽谷行図（部分）
（本恵寺蔵）



役行者像
（中津川行者堂蔵）



胎藏界五仏方鏡
（和泉市教育委員会蔵・和泉市指定文化財）



不動明王二童子四十八使者図（部分）
（七宝瀧寺蔵・泉佐野市指定文化財）

他館の展覧会

○わかやま歴史館
「南紀重国とその時代」
10月24日～12月3日

○和歌山県立博物館
特別展「紀州・明恵上人伝」
10月14日～11月26日

○和歌山県立近代美術館
「トランスボーダー：
和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」
9月30日～11月30日

「原勝四郎展 南海の光を描く」
10月7日～12月3日